

神奈川初のブランド誕生

横濱空學堂

懐かしさとハイカラな雰囲気を持った「横濱空學堂」のロゴ



マホガニー調のキエルトオリオケース。かまもく塾のブランド立ち上げを支えた神奈川県家具工業組合の横内昭次郎理事長(右)と小安亮秀理事(左)

府中家具(広島)の松柳と高橋正彦は昨年、スウェーデンを舞台に独自ブランドの「MAJUSO OTE」を発表した。家具の町・大川では、若手が集まった大川維新の会が昨年、東京初の展示会を開催して、家具・建具メーカーのコミュニケーションによる新作を発表した。2008年に立ち上がった東京都家具工業組合の「TOP1」はこうしたコラボの草分けとして位置づけられている。一般社団法人日本家具産業振興会の加藤知成会長は、本紙インタビューや今年の年頭所感で「ブランドの時代」という言葉を使っている。「企業数社それぞれが持つ技術やブランドとして優れた技術を創造しよう」ということで、いわゆる「コラボレーション」よりもっと結びつきの強い意味」だという。

業界再興の起爆剤に

「今後の生き残りのためにも、こういった結びつきを必要とするブランド時代」にきている。1社はなしえないことを業界内の内外を問わず、協力して知恵を出し合い、新たな取り組みにぜひ挑戦していただきたい」とその必要性を訴えている。以前、ある若手経営者から「若者が年配者にも言うにくい雰囲気や地元にある」という声も聞いたことがある。こうした有志の「ブランド」は、曇り曇った空気を打ち破る、産地や地域の家具業界再興の起爆剤となる可能性を秘めている。さらに、各地で立ち上がる「一社」としてのプロジェクトが集まり、例えば展示会や展示コーナーの実現に結び付けば、訴求力はさらに高まるだろう。(本紙・加納編集長)



ユーザーにそのままお届けします。協力で、同社「ク」テクニクスを「載」します。

「Z」T73モジュールから生まれ、バスチェアも選べる。

広々とした掛アザインで1人人気。

コンパクトとカバー。

ZU48 モデル

ZT83 モデル

WU47 モデル

「横濱空學堂」立ち上げ 神奈川県家具工業組合「かなもく塾」キョリオなど新作発表

神奈川家具初のブランド「横濱空學堂」は、まもなくがスタートを立ち上げ、新作を4月から始まる「テクニカルショウヨウ」で発表する。リーダーの横内昭次郎(アッシュ)社長は、2年間かけて議論を積み重ねて神奈川ならではの家具に仕上げた。なにものもつくりの運と一つにまとめることができたことが収穫と手応えを感じている。各社が知恵を出し合い独自ブランドを立ち上げるプロジェクトが、産地や各地域で相次いでおり、業界活性化の新たな動きとして注目される。

いる秋山木工の秋山利輝社長の「若手の育成も含めて、組合員が将来に希望を託せる企画を立ち上げよう」という掛け声で、2008年に発足。神奈川らしいブランドを立ち上げようという「かなもく塾」のメンバーで議論を重ねて今回の新作発表に至った。

「かなもく塾」は洋家具発祥の地である横浜の伝統と技術を継承するために、神奈川家具工業組合に所属する11社の若手経営者と家具職人らで構成されている。工種制を打破り入れた人材育成が各社から注目されて



製品開発の打ち合わせをする「かなもく塾」のメンバー

み、ハイエンドのユザヤをターゲットにした。新作は曲面ガラスのキョリオケースとロルトトップデスクの2タイプ。洋家具発祥の地である横浜の香りを大入れながら

「世の中の役に立つものを作る」。各員がアイディアを持ち寄り、時には意見を戦わせながら、製品コンセプトを絞り込

「ミス日本みどりの女神」に佐野加奈さん

20歳の東京農大生が選出

第47回ミス日本コンテスト2015が1月26日、東京都新宿区の京王プラザホテルで開かれ、今年度から新設された「ミス日本みどりの女神」に東京農大3年生の佐野加奈さん(20)が選ばれた。国土の7割が森林という世界有数の森林国である日本の林業や木の文化を20年に向けて発信するために設けられた。今後、国土緑化推進機構や林野庁の協力の下、全国での森関連や緑化推進イベントなどで活動する。コンテスト審査員として今井敏林野庁長官も出席した。(関連記事4面)



キングの塔(神奈川県本谷)・クインの塔(横浜磯岡)・ジャックの塔(横浜市開港記念会館)があり、地元は横浜三塔と呼ばれ、横浜港のシンボルとして長年市民に親しまれている。横浜三塔が完成した当時

は、港に停泊する船の目印になっていた。キョリオケースは、この3塔をヒントに灯台をイメージしてデザインされた。材はマホガニーを使い、ラインUPDを探用して縦に配置することによって隅々まで光が行

き渡っている。製作は横内製作所が担当した。ロルトトップデスクは、クラフトの野宅に残っていたという欧州で約150年前に作られた木枠を現代の技術で再現した。巻き込み戸を閉じると自動的に引き出しがロックされるカラフル機能も備えている。材はホルツで、マカロニデザインが製作した。

「横濱空學堂」の製品には、神奈川家具工業組合の厳しい審査を受けた。横内製作所。

新情報の掲載スタート 現読者にはユーザーIDを無料提供

紙面充実に伴い「web家具新聞」有料化
家具新聞のインターネット版「web家具新聞」上で2月18日から「家具新聞電子版」(有料)がスタートします。現在の購読されている読者にはユーザーIDを無料で発行いたします。新聞発行2週間後に新聞の全情報が閲覧できるようになり、社内での情報共有やパソコン上で情報のクリッピング等にご活用ください。さらに出荷統計情報は、毎月月の推移を確認することができるようになります。web家具新聞のみの購読(年間購読料24000円・税込)も可能です。家具新聞は今号から新企画をスタートしました。ラ

- 家具新聞購読料 (club家具新聞 web閲覧サービス付き)
年間 18,900円 (前納、税込み)
半年 9,450円 (前納、税込み)
●現在、購読されている家具新聞読者には無料でweb閲覧用のIDを発行します。
●家具新聞電子版購読料
年間 24,000円 (前納、税込み)
半年 12,000円 (前納、税込み)

私評

アベノミクスの3年間の実績をみると、内外エコノミストの評価は、大企業と富裕層に厚く、中小零細企業や庶民は薄。その格差拡大が指摘されているが、安倍首相は「この道しかない」とアベノミクスに固執、この風潮を全国津々浦々に届けたい、と言うが、いくら待ってもトリクルダウンなど望められない。戦争を知らない、庶民の現場の生活実態に無縁。こう言う首相だから中東情勢や日本人が昨年6月、10月ごろイスラエルに拘束されていることを知りながら無神経な発言をしたか、日本人殺害という最悪の事態を招いた。テロに屈しない」と喝まじいことは言うが、ヨルダン政府まかせの状態。日本は過去に福田赳夫首相が「人命は地球より重い」と言い、日本赤軍のハイジャック事件に対応、また1999年のギルギスの日本人誘拐事件では身代金交渉で人命を救った。経済も行き詰まり大企業に負